令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	活気にあふれ地球環境にやさしいまちづくり【産業・環境分野】	施策	19_観光	所管部長 取りまとめ所属	経済環境部長 商工観光課
施策の内容	国内外から多くの観光客を呼び込むため、広域幹線道路ネットワークを生かした受入体制の整備を推進するとともに、地域や関係機関と連携しながら、地域の特性や日本遺産ブランドを活用した更なる観光振興を図ります。				
めざす姿	地域や関係機関などと連携した誘客施策の推進や受入体制の整備により、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わっています。				
重点事業	新東名高架下観光駐車場整備事業	日本遺産活用推進事業	観光インバウンド等プロモーション事業		
施策構成事業	観光振興事業費	観光誘客宣伝事業費	観光基盤整備事業費		
	山岳美化推進費	大山駐車場運営費	観光施設維持管理費		
	平成大山講プロジェクト推進事業費	日本遺産活用推進事業費			

評価

進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	重点事業の取組状況は概ね計画通りの取組が実施できており、また、成果指標の実績値についても、R9目標値達成に向けて現状値と比較し上昇しています。
施策推進上の課題･環境変化	観光振興に係る施策は、地域経済への反映には多くの時間を要するため、地道に進めていく必要があります。 また、日本遺産「大山詣り」認定１０周年、令和９年度新東名高速道路全線開通を見据え、一層の観光施策の推進とともに、受入環境を整備する必要があります。		

評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	概ね順調				

施策推進の方向性

方向性	継続
総評・今後の施策推進方針	新東名高架下観光駐車場整備事業については、開発協議などの必要な調整等を進めるとともに、大山地区の交通渋滞の対応として、臨時駐車場の確保などの検討を進めます。 日本遺産活用推進事業については、「教育旅行誘致促進事業」、「日本遺産ブランド商品開発・販売促進事業」など推進するとともに、伊勢原市日本遺産協議会の収入確保に向けた検討を進めます。 観光インバウンド等プロモーション事業については、インバウンド向けSNSの運用や大山地域通訳案内士の活用など、外国人観光客を対象とした誘客プロモーションを続けます。

成果指標

成果指標名 指標の定義	現状値	R５ 実績値	R６ 実績値	R７ 実績値	R８ 実績値	R９ 実績値	R９ 目標値(方向性)
観光消費総額 １年間の観光客消費総額	15.9億円 (R3)	19.3億円					25.8億円
観光地としてお勧めしたいと感じる市民の割合 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	47.6% (R4)	48.1%					↗

重点事業の取組内容

事業名	新東名高架下観光駐車場整備事業		
事業内容	大山地区の交通渋滞の緩和を図るため、新東名高速道路高架下スペースを活用した新たな観光駐車場を整備します。		
取組工程	項　目	令和5年度 計画	令和5年度 実績
	駐車場等の整備	設計	検討
令和5年度取組内容	観光駐車場整備に向けて、開発協議などの必要な調整等を進めました。また、大山地区の交通渋滞の対応として、臨時駐車場の確保などの検討を進めました。		

<table>
<tr><th>事業名</th><td colspan="3">日本遺産活用推進事業</td></tr>
<tr><th>事業内容</th><td colspan="3">日本遺産「大山詣り」のブランド力を生かした本市の魅力アップ及びリピーターの獲得につなげるため、「教育旅行誘致促進事業」や「日本遺産ブランド商品開発・販促事業」など、様々な観光事業に取り組む伊勢原市日本遺産協議会を支援します。</td></tr>
<tr><th rowspan="6">取組工程</th><th rowspan="2">項　目</th><th colspan="2">令和5年度</th></tr>
<tr><th>計画</th><th>実績</th></tr>
<tr><td>伊勢原市日本遺産協議会の運営</td><td>継続実施</td><td>継続実施</td></tr>
<tr><td>教育旅行の誘致促進</td><td>継続実施</td><td>継続実施</td></tr>
<tr><td>日本遺産ブランド商品の開発促進</td><td>継続実施</td><td>継続実施</td></tr>
<tr><td>新規事業の立ち上げ</td><td>先進地視察事業の検討</td><td>先進地視察事業の検討</td></tr>
<tr><th>令和5年度
取組内容</th><td colspan="3">日本遺産協議会の安定した運営とともに、教育旅行６校の受入や「日本遺産ブランド商品開発・販促事業」で新商品３件の開発など、様々な観光事業に取り組む伊勢原市日本遺産協議会を支援しました。</td></tr>
<tr><th>事業名</th><td colspan="3">観光インバウンド等プロモーション事業</td></tr>
<tr><th>事業内容</th><td colspan="3">ポストコロナにおけるインバウンド需要の回復を見据えた本市の魅力アップ及びホスピタリティの向上を図るため、インバウンド向けPRや大山地域通訳案内士の活用など、外国人観光客を対象とした誘客プロモーションを強化します。</td></tr>
<tr><th rowspan="4">取組工程</th><th rowspan="2">項　目</th><th colspan="2">令和5年度</th></tr>
<tr><th>計画</th><th>実績</th></tr>
<tr><td>インバウンド向け観光情報の発信</td><td>メディアを活用した情報発信</td><td>メディアを活用した情報発信</td></tr>
<tr><td>大山地域通訳案内士の活用促進</td><td>任意団体の組織</td><td>任意団体の組織</td></tr>
<tr><th>令和5年度
取組内容</th><td colspan="3">インバウンド向けSNS（Instagram・Facebook）を令和５年８月から運用開始し、合計８０００人以上のフォロワーを獲得しました。また、大山地域通訳案内士の会を設立し、外国人観光客を対象としたツアーでの活用を図りました。</td></tr>
<tr><th colspan="4">重点事業以外の取組内容</th></tr>
<tr><th>令和5年度
主な取組内容</th><td colspan="3">―</td></tr>
</table>